



嵐山保養所閉鎖を前に、朝日新聞健保が委託業者に表彰状



仁科 恭輔
部長

約40年にわたり愛されてきた嵐山保養所は3月末をもって営業終了となります。

朝日新聞健康保険組合は25日、これまで安定した運営をしていただいた委託先、株式会社エムアンドエムサービスの長年の功績を称えるため、「業務委託先表彰」をしました。

嵐山保養所は1985年10月、朝日新聞健康保険組合の直営保養所としてオープンしました。エムアンドエムサービスに2009年、保養所運営を委託し、途中、直営方式に戻った時期もありましたが、19年から改めて委託を依頼するとともに、一般利用者を一部受け入れる共同利用方式に変更しました。名勝・嵐山渡月橋に近く、京都観光、嵯峨野巡りの拠点として、当健保組合の保養所の中でも屈指の人気を誇っておりました。

業務委託先表彰では、前日のお客様がチェックアウトされた後、支配人を含め7人の従業員の方に集まっておいただきました。謝意を込めてのあいさつと、理事長名の感謝状を代読しました。

最後に、支配人の芝山和昭さんから「閉鎖はとても残念だが、多くのお客様に愛された保養所で、携われてうれしい。残り1週間、心を込めて営業してまいります。大変お世話になりました」とご挨拶をいただきました。30年、40年と同保養所で働いていた従業員の方もいらっしゃり、セレモニー後も思い出話をしみじみと語っていました。

(大阪管理部長・朝日新聞健保大阪支部常務理事 仁科恭輔)

